

ヴェネチア国際映画祭2011
ヴェニス・デイズ正式出品

トロント国際映画祭2011
正式出品

パリ、北京、二つの都市で
居場所を求めてさまよう、
ある女の「愛の問題」

どんなにセックスを重ねても、
愛には届かない

パリ、 ただよう 花

監督・脚本：ロウ・イエ / 脚本：リウ・ジエ / 撮影：ユー・リクウアイ
出演：コリーヌ・ヤン、タハール・ラヒム
(仏・中国 / 2011年 / 105分)



ロウ・イエ版

『ラスト・タンゴ・イン・パリ』

「愛情はまず身体が感じるもので、それは思想や道徳などに先んじて存在する感覚だ。だから愛情は人自体に最も近いものでもあり、人間的で美しく、また危険でもある」——ロウ・イエ

パリ、ただよう花

北京からパリにやってきたばかりの若い教師、花^{ホア}。なじみのない街で彼女は様々な男と体を重ね、自分の狭いアパートと大学の間、かつての恋人たちとフランスで新たに出会った人々の間を漂う。ある日、建設工のマチューという男と出会う。一目で恋に落ちた二人は、激しく肉体を求め合う。

お互い、秘密を抱えたまま…。異なる人種や文化、暴力と優しさ、愛とセックスのはざままで揺れ動くある女性の“愛の問題”を描く、本作をもって5年間の中国国内での映画製作の禁止が解かれたロウ・イエ版『ラスト・タンゴ・イン・パリ』。

出演：タハール・ラヒム（『預言者』/ジャック・オディアール監督） 撮影：ユー・リクウアイ（『長江哀歌』/ジャ・ジャンクー監督）

そのあまりに赤裸々で過激な性描写で話題となったネット小説「裸」を映画化。

原作者、リウ・ジェが自身の体験をもとに、インターネット上で発表した小説「裸」が元となった、ロウ・イエにとって初の原作作品だが、ロウ・イエはこの小説を映画化しようとした理由をこう語る。「僕が常に興味を持っている“愛”というテーマを、女性の視線で率直かつ正直に、人間的な視線で提示していました。愛は人間にとって日常的な問題です」撮影は、ジャ・ジャンクー作品には欠かせない撮影監督、ユー・リクウアイ。

出演は、LOUISVUITTON、Dior、Yves Saint Laurentなど、トップブランドの広告等で活躍するフランス生まれの中国人モデル兼女優コリーヌ・ヤンと、ジャック・オディアール監督『預言者』（2009年）のタハール・ラヒム。中国から来た教師とフランスに住む建設工という対照的なふたりを圧倒的な存在感で熟演、『『預言者』以来のハマリ役』（ル・モンド紙）と評された。



2013年
12月21日(土)
公開

UPLINK 渋谷アップリンク

東急百貨店本店右側道200m先右手
▶03-6821-6821 ▶<http://www.uplink.co.jp/>

K's cinema 新宿K's cinema

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿いドコモショップ左入ル
▶03-3352-2471 ▶<http://www.ks-cinema.com/>